

South and Central America



北山杏子隊員ドミニカ 観光業 札幌市



ブエノスディラス

①多様な文化

②まだ半年しか活動していません。明確な答えは今はまだできません。しかし、今年の2月にあった、サンマルコス県の4つのパイロット校の先生方を集めて行われた会議はやはり強く印象に残っています。初めて会う先生方の前で、緊張しながら、慣れないスペイン語での挨拶。前日から、何を話そうか必死に考え、暗記したのですが、いざ先生方の前に立つと、緊張のあまり、何を覚えたのか忘れてしまいました。しかし、なんとか話さなければならないと思い、頭が真っ白の中、何かを話しました。また、私が小学校に着くと、何人かの子どもが私のところに寄ってきて、こっちの国の挨拶であるほっぺたにキスをしてくれます。私は実際に子どもたちに授業をしているわけではないので、子どもたちが私がどんな仕事をしているのかわからないのです。それにもかかわらず、子どもたちは私を受け入れ、気軽に接してくれます。時々、休み時間に一緒にバスケットボールをしたりしています。このような少ない時間でも、こっちの国の子どもと過ごす時間は、私にとって、大変貴重であり、常にがんばる力を与えてくれます。

ブエノスタルデス

①のんびり

②着任して1年経つが、最近活動先と同僚や生徒たちの家具作りに対する考え方にちょっとした変化があり、今までは隙間などがあっても気づかずに仕上げてきていたものが、隙間や傷があっては製品としての質が良くないと気付き、きれいに仕上げようと心がけるようになった。また今回際に製図を教えているが、今までなかなか理解する事が出来なかった立体と平面の感覚的なものや製図の仕組み等をやっと理解する事が出来たみたいで、「わかった」という言葉だけでなく実際に自分で例題を提示し私に説明してくれ完全に理解したという事を表現してくれた。そして今度は「自分が学んだ事を生徒に教えるんだ」と嬉しそうに言ってくれた。私の考えは、ボランティアから講師へ、講師から生徒へ技術や知識を伝える事によって、この先ボランティアがいない状態でも今私が教えていることを後に伝えていくという事が前提にあり、この同僚の一言は思いが伝わっているのだとても感動した。出来なかった事が出来るようになった瞬間を共有できる事が何よりも印象に残り、何よりも嬉しく感じる。

オラ

①ワインとビールで明るいチリ人と乾杯

②日本を知ってもらうという意味で、今年は原爆投下60周年にあたることから、チリ隊員の任地を巡回する形で「原爆展」を行っています。「原爆」という言葉は聞いたことがあっても、遠い世界の過去のことですから、あまり知られてはいません。折鶴に込められた平和への願いを子供たちに話しながら一緒に折りましたが、真剣に聞き、折り方を覚えようとする子供たちの目が印象的でした。

オラ

①人の温かさ

②着任してすぐ、隣村の学校教諭隊員に依頼され、中学校へ「よさこいソーラン」を教えに行くと、子どもたちが興味津々とても楽しそうに踊ってくれたこと。正直なところみんなバラバラで上手とは言えなかったのですが、子どもたちの笑顔が嬉しく、私の最初の活動だったこともあり、思い出深い出来事でした。

ブエノスディラス

①一言ではいいきれませんが(誇りを持った笑顔、豊かな自然と食文化、先住民の優れた技能等)

②市民病院、産科病棟で母子の産後のケアを同僚看護師としています。妊娠中毒症など合併症が多く、120件のうち4.5件は死産。障害を持って生まれてくる子ども多い状況です。始めのうちは大雑把で冷たく見えた看護師の対応ですが、お互い少しずつ歩み寄っていく中、逆に私が誤解していた事、教えられる事も沢山ありました。わたしが折に触れて話す、患者の身になって考える看護も実践されつつあります。時折、わたしの患者への説明を真似て、同僚が患者指導をしているのを見ると、嬉しくなります。すぐに患者と打ち解けて、貧しい患者のために余った薬や忘れ物の服をあけてしまう・余った時間はすべて世間話・噂話・そんな同僚が私は大好きです。

オラ

①ラテンのノリとリズム

②私の配属されているNGOはマニサレス市と近郊の14の貧困地域にセクターを持ち、それぞれの地区担当の指導員が子ども達にレクリエーションや環境、子どもの権利などについて教えたり、学校の補習を行ったりしています。安全上の理由で私達JICAボランティアは子ども達が住んでいる地域には行けないのですが、私の授業を受けるために毎週わざわざ1時間も歩いて本部のセンターまで来てくれる子ども達がいることが一番印象的です。また初めての授業で「プニエロ(コロンビアのチーズ入りドーナツ)が好き」と話したら次の授業に時にアツアツのプニエロをいっぱい持って来てくれた子がいてその気持ちがすごうれしかったです。

オラ

①時間がゆっくり流れているところ

②赴任して間もないため大きな活動はしていませんが、話を聞く分には「パナマの食事は脂っこい」とみんな口を揃えて言いますがそれに対して改善の様子がありません。食事による疾病予防という概念や調理方法を知らないようです。野菜を食べないことに関しても、『値段が高くて種類が少なく食べる習慣が無い』と諦めているようです。パナマ独自の食習慣を全て否定するのではなく少しでも意識改善に気づいてもらえ、と思っています。

ブエノスタルデス

①のんびり

②配属先の学校で先生方対象に、楽しくわかりやすい授業を行うための教材作りの研修会を開いたところ、教材を作るための材料(模造紙や色紙、マジックなど)がなく、先生方もあまり関心がない様子でした。結局、その時間は全く教材を作る様子が見られず、「失敗だったな～」と思っていたら、後日、参加していた一人の先生が私が研修会で教えた教材を自宅で作ってきて、授業で活用していました。しかも、子供たちが楽しいようにその教材を使って活動している様子を見て、やってよかったな～と感じました。